

令和4年度 第1回千葉県水産振興審議会 議事概要

1 日 時 令和4年4月20日(水) 14:00~15:30

2 場 所 千葉県教育会館608会議室

3 出席委員数 8名(欠席:渡邊委員、石井委員)

4 傍聴者 2名

5 議事

(1) 千葉県・圏域総合水産基盤整備事業計画の策定について

6 報告事項

(1) 千葉県農林水産業振興計画の策定と令和4年度の主な取組について

(2) 令和3年度の各部会における審議状況について

①栽培漁業・資源管理部会

②生産・販売流通部会

7 議事概要

事務局から出席委員数の報告等を行い、審議会が成立していることを確認した。

議題(1) 千葉県・圏域総合水産基盤整備事業計画の策定について

千葉県・圏域総合水産基盤整備事業計画の策定について、県から資料1-1及び1-2により説明した。

資料1-1: 千葉県・圏域総合水産基盤整備事業計画の策定について

資料1-2: 千葉県の水産振興施策の計画体系概要

報告事項(1) 千葉県農林水産業振興計画の策定と令和4年度の主な取組について

千葉県農林水産業振興計画の策定と令和4年度の主な取組について、県から資料2-1から2-6により説明した。

資料2-1: 部門別戦略の概要

資料2-2: 千葉県水産総合研究センター機能強化について

資料2-3: 藻場の保全・回復に向けた取組の強化

資料2-4: スマート水産業の取組について

資料2-5: 流通拠点漁港等の施設整備支援状況について

資料2-6: 令和4年度 漁業の担い手確保の取組

(質疑応答)

(委員) 館山市では藻場の保全に5年取り組んでいる。しかし、食害がひどく非常に難

しい。NPOにも相談しているが、回復しない。また、10月に全国アマモサミットを開催する予定である。県に御指導いただきたい。

(県) 内房地域から始まり、内湾の金谷まで磯焼けがあることを確認している。水中カメラやドローンを使ったモニタリング体制ができたので、状況を確認する。また、スポアバックを使用してもブダイ等による植食性魚類の食害が発生することから、網で囲う等の対策も必要であると考えている。さらに、現在行っている、刺網による植食性魚類の漁獲だけでなく、はえ縄等の漁獲も必要だと考えている。

(委員) 潜って確認しており、無くなっていることは分かっている。モニタリングよりも対策が重要で、漁獲するのが難しい。

(県) 全国アマモサミットについても連携して対応するようにする。

(委員) 御宿町でも後継者不足や就業者不足が問題となっている。資料2-1の新規就業者数17%増加と、資料2-6のモデルケースは関連しているものなのか。

(県) 17%増加は数値目標であり、このようなモデルケースに取り組んで達成したいという数値である。

(委員) 具体的な成果や実績はあるのか。

(県) モデル事業として地元の市町や漁協と協力しながら取り組んで、成果を上げたいと考えている。よいモデルは、他の地域にも波及させていきたいと考えている。

(委員) 海洋高校卒業生の就業先は分かるか。

(県) 手持ちには無いが、漁業への就業は少ないと思われる。

(委員) 先生に、生徒達に地元に残ってもらえるよう伝えてもらうように、お願いできないのか。

(県) パンフレットを作成しているので、配布しながらお願いしていく。また、銚子、館山、勝浦の地区毎に、学校の先生を含めた協議会があるので、その場で、地元漁業の情報を交換したい。

報告事項(2) 令和3年度の各部会における審議状況について

令和3年度の各部会における審議状況について、県から資料3-1及び3-2により説明した。

資料3-1：令和3年度千葉県水産振興審議会（栽培漁業・資源管理部会）の開催結果について

資料3-2：令和3年度千葉県水産振興審議会（生産・販売流通部会）の開催結果について